

アベリア

別名
科属 スイカズラ科
学名

樹形



性状
葉の分類
類似
開花時期
別名

アセビ

別名 アジビ
科属 ツツジ科
学名

樹形



性状 常緑低木
葉の分類
類似
開花時期 3月～4月
別名
剪定時期 9月

あじさい

別名 ホンアジサイ
科属 雪の下 (ゆきのした) 科
学名 アジサイ属

樹形



性状
葉の分類
類似
開花時期 6月～7月
花芽分化期 10月



ウィキペディアより、引用しています。

- 1)原種は、日本に自生する**ガクアジサイ**である。
- 2)栽培は、梅雨期に主に挿し木によって繁殖させている。
- 3)アジサイは、土壌のpH(酸性度)によって、花の色が変わる。酸性なら青、アルカリなら、赤
- 4)花の老化により、青色の花も赤みをおびる。
- 5)剪定時期は、盆過ぎに、眼の上、3cm位で切る。

あかばめぎ

別名	コトリトマラズ
科属	メギ科メギ属
学名	

樹形



性状	落葉広葉樹
葉の分類	:赤紫色
類似	
開花時期	花：5月／実：10～11月
別名	
花芽分化期	

wikipediaから引用しています。

- 1)ヨーロッパで、改良されたメギの園芸品種
- 2)葉が、黄色の”オウレア”や、ピンクの斑が、散る”ローズグロー”などがある。
- 3)中国原産の”ベルベリス・ユリアナエ”は、常緑で、枝は立ち、大きいトゲがある。
やや高山生で、暖地では、栽培しづらい？
- 4)和名は：枝を乾燥して煎じた物を洗眼薬としたことに由来するが、健胃整腸剤にも利用されている。

アメリカカフウ

別名 アメリカカフウ又は、モミジマフウとも

樹形

科属 マンサク科フウ属
学名 :和名アメリカフウ、アメリカソゴウコウノキと

性状 落葉高木
葉の分類 :葉は互生して、カエデに似ており、光沢があ
類似 美しく紅葉する。
開花時期 4月 雌雄同株(しゅうどうしゅ)集合果で、径
別名 :和名アメリカフウ、アメリカソゴウコウノキと



これは、アメリカフウ……本より、引用して。

公園や、街路樹に良く植えられている。 アメリカフウ(5-7列・北米、中南米) サンカクバフウ(中国、台湾原産)
フウ属は、雌花の花序が球形で、垂れ下がるので、区別できる。

イワナンテン

別名 岩椿(いわつばき)
科属 ツツジ科、イワナンテン属
学名 *Leucothoe keiskei* (岩南天)

樹形



ウィキペディアより、引用

和名:岩南天で、岩の上に生え、葉がナンテンに似ることによる

別名:イワツバキが、ある

自生地: 和歌山県南部方面に溪流沿いに岩に生える。

イロハモミジ

別名
科属 カエデ科カエデ属、ムクロジ科
学名

樹形



性状 落葉高木
葉の分類
類似
開花時期 :4-5月
別名、和名:イロハモミジ、イロハカエデ、タカオカエデ
コハモミジなど

ウィキペディアより、引用しています。

東アジア原産

昔人にてによって庭園や神社の境内に植えられており、庭木として、よく知られる。

日が当たらない所では、緑色になる傾向がある。

本年の枝の先に、複散房花序を出して直径4-6ミリの花を下垂してつける。

果実は:10月頃に熟すると風で飛ばされる。

変種・園芸種.....ベニシダレ

ノムラカエデ

アオシダレ

チリメンカエデ

ヒガサヤマ

シメノウチ

オオサカズキ

エゴノキ

別名 チシャノキ、ロクロギ
科属 エゴノキ科エゴノキ属
学名 *Styrax japonica* Sieb. et Zucc.

樹形



性状 落葉小高木

葉の分類

類似

開花時期 5~6月

別名

wikipediaより引用しています。

和名： 果実を口の中に入れると 喉や舌を刺激してえぐい(えごい)事を由来する。
 樹皮： 赤褐色で、きめ細かい
 葉は： 両端のとがった、楕円形で互生
 果実は長さ2cmほどの楕円形で、大きい種子を1個含む
 果皮に有毒なエゴサポニンを多く含、エゴサポニンは胃や喉の粘膜に炎症を起こし溶血作用もある
 庭木などとして栽培もするほか、緻密で粘り気のある材を将棋のこまや、和傘のロク口の素材に
 品種： ピンクチャイム、シダレエゴノキ 等がある。 また、ミニ盆栽もある。
 昔は若い果実を石鹼と同じように洗浄剤として洗濯などに用いた[
 寄主転換を行うアブラムシ、エゴノネコシアブラムシ
 口に入れると有害なので、水で洗い流せば特に害は無いが手づかみで食べるなどすると有害物質
 である。

エメラルドゴールド

別名 ニオイヒバ
 科属 ヒノキ科 クロベ属
 学名 *Thuja occidentalis*

樹形

性状 : 常緑針葉樹の高木
 葉の分類 : 葉は、レモンに似た香りがある。
 類似



樹形： 円錐形で、剪定も必要ない、しかしながら、葉が、密になって枯れやすい。

円錐形： エメラルドゴールド、グリーンコーン、ヨーロッパゴールド、イエローリボン
 マリセンズ・サルファー、ホルムストラップ、サンキスト、等がある。

地形： ダニカ、ミラー、ラインゴールド等がある。

オオムラサキ

別名 オオムラサキツツジ
 科属 ツツジ科 ツツジ属

樹形



学名 _____

性状 常緑広葉樹

葉の分類 _____

類似 _____

開花時期 4月～5月

別名 ケラマツツジとキシツツジの交雑



交雑種: ケラマツツジにモチツツジ、リュウキュウツツジが、交雑して、出来たものです。



:ヒラドツツジの属する、。

野山にはない。4月から、5月にかけて咲く艶やかな紫の花は、ツツジの仲間でも最も大きい、暑さ、寒さに強く丈夫で育てやすい。

オタフクナンテン

別名 五色ナンテン

樹形

科属 メギ科ナンテン属

学名 _____

科目 _____

性状 常緑広葉樹 低木

葉の分類 _____

類似 _____

開花時期 花：5～6月／紅葉：12～2月

別名 オカメナンテン、ゴシキナンテン

背丈は低く葉はやや丸みを帯び小さいです
背丈が低く管理しやすいので利用が増えています
普通のナンテンに比べ花は咲きにくく、実も成りにくいです



オトメツバキ

別名
科属 ツバキ科 ツバキ属
学名

樹形

性状 常緑低木
葉の分類 卵形で脚、先端が尖っている
類似
開花時期 3月～4月
剪定時期
花芽分化期 6月下



A large rectangular area with a red dashed border, intended for additional notes or information.

カンツバキ

別名
科属 つばき科 ツバキ属
学名

樹形

性状 常緑中低木
葉の分類 葉色:暗緑色 葉形:槍形 葉縁:鋭い鋸歯
類似
開花時期 11～2月
別名
剪定時期 3～4月
花芽分化期 5～6月



、サザンカとツバキの交雑種(異論もあり)
一般的にサザンカという場合、カンツバキを指すことも多い。
「勘次郎」であり、関西では古来、シシガシラと呼ぶことが多

キンモクセイ

別名		樹形
科属	モクセイ科モクセイ属	
学名		
属名	ギリシャ語で”匂い意	
性状	常緑小高木	
葉の分類		
類似	日本には雄株しか渡来していないので	
開花時期	9月～10月	
別名		
剪定時期	花が終わってから、10月迄。	
花芽分化期		



原産地は中国で、原木は、花が終わって、**実がなる**
日本ではすくない。**兵庫県の姫路に1家あります。**

ギンモクセイは、白い花で、匂いもキンモクセイほどは、ない。

ヒイラギモクセイは、ギンモクセイと、ヒイラギの雑種と考えられます。
花は白で、匂いがある。原産地が不明 葉っぱには、とげがある。
生垣に使用される事が多い。

クサツゲ

別名	ヒメツゲ	樹形
科属	ツゲ科ツゲ属	
学名		



性状	常緑広葉樹	低木
葉の分類		
類似		
開花時期	4月	



境栽やグラウンドカバーに向いています

～ 日向から半日陰に向きます

寒さには強いですが

成長速度: やや遅い もともと背が低いため遅く感じます

移植: 春・梅雨・秋 移植は容易です

剪定: 5・7・9～10月

病虫害: ツゲノメイガが厄介です

冬は紅葉します。



クスノキ

別名	
科属	クスノキ科 ニッケイ属
学名	

樹形

性状	常緑高木
葉の分類	
類似	
開花時期	
別名	
剪定時期	





葉が線香の原料となるタブノキ

樹皮が香辛料などに利用されるセイロンニッケイ(シナモン)は近縁の種である。

春の若葉のころに、全体的に赤っぽく見えるクスのことを特にアカグスと呼び

青っぽく見える方をアオグスと呼ぶ場合がある

クスノキの花言葉には、「芳香」[6]がある。



若葉のころ

暖地の半日陰を好み、寒さには弱い性質で

土壌の質は砂礫土がよく、根は深く張

剪定は3月下旬 - 4月に行う 施肥の必要はない

ゲッケイジュ

別名

科属

スイカズラ科

学名

樹形

性状

葉の分類 対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし

類似 ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ

開花時期 4月



別名 アメリカ山法師



、クスノキ科ゲッケイジュ属の常緑高木。葉に芳香があり
英語のノーブル・ローレル (Noble Laurel) を中国語に訳して「月桂樹」と名付けられ

萌芽力が強く 雌雄異株であるが、日本には雌株が少ない

花期は春(4 - 5月)で、葉腋に短い花柄を出して、その先端に黄白色の小花を群がって咲かせ

葉は香辛料として煮込み料理の香味づけに、葉や果は薬用として利用される
刈り取った枝葉を採集して、陰干

ゲッケイジュに含まれる精油はヒトの味覚神経を刺激し、唾液や胃液の分泌を促して
食欲増進作用があるほか、浴湯料として血液循環作用がある

トピアリーを容易に作ることもできる。
葉、実は、それぞれ月桂葉、月桂実という生薬名を持つ

ケヤキ

別名 アメリカヤマボウシ
科属 ミズキ科ミズキ属
学名 Benthamidia florida

樹形



性状 落葉小高木
葉の分類 対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし

類似 ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ



木材、シンボル、日本の著名なケヤキ、ケヤキ並木などがあります。

ゴールドクレスト

別名

樹形

科属 スイカズラ科

学名

性状

葉の分類 対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし

類似 ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ

開花時期 4月

別名 アメリカ山法師



ゴールドクレストは、本来は樹高20mに達するような高木です

11～12月には、クリスマスツリーの代わりとして、多く出回ります。

ゴールドクレスト (Goldcrest)

葉は黄金色で、冬季は橙色を帯びます。

ヴァリエガタ (斑入りゴールドクレスト、Variegata)

黄白色に、全体的に斑が入ります。生育は遅め。

ゴールドクレスト・ハッピー (Goldcrest Happy)

鮮やかな黄緑色に、淡い黄緑色の斑が入ります

ゴールドクレストは、水はけ、水もちのよい土に植えます

赤玉土と腐葉土とパーライトを6:3:1の割

高温多湿を嫌いますので、風通しをよくしてあげまし

基本的に「鉢土が乾いたら鉢底から流れ出るくらいにたつぷ
時間帯は、朝～午前うちに済ませます

時々霧吹きでシリンジ(葉水)をして、常に葉が柔らかくみずみずしい状態

春先の3月と6月頃に、株元に緩効性肥料を与える程度です

ゴールドクレストの植え替えは、春3～4月、もしくは秋9～10月頃が適期

樹高を調整する「芯止め(摘心)」
不要な枝を整理する「切り戻し」があります。

コクチナシ

別名

樹形

科属 スイカズラ科

学名



性状

葉の分類 対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし

類似 ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ

開花時期 6から7月

別名 アメリカ山法師

熟果期 10 ~12月

ヒメクチナシとも呼ばれる
実がならないか、見たことがない





この画像は、インターネットより、引用しています。
クチナシの実は古くから染料や薬用に使われています。

口が開かないことから「クチナシ」の和名がつけられたとされています。

純白の6弁花を咲かせて強い香りを漂わせます

庭植は明るい半日陰で、水持ち、水はけのよい場所が適しています

乾燥を嫌います

コグマザサ

別名	アメリカヤマボウシ
科属	ミズキ科ミズキ属
学名	<i>Benthamidia florida</i>

樹形



性状	落葉小高木
葉の分類	対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし
類似	ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ

3月は移植の最適です。

コブシ

別名		樹形
科属	モクレン科	
学名	モクレン目	

性状

葉の分類 対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし

類似 ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ

開花時期 4月

別名 和名 コブシ



Wikipediaより、引用

開花の様子が小さな子どもの握りこぶしのように見えると

つぼみの形を握りこぶしに見立てたものだとする説

和名「コブシ」が、そのまま英名・学名になっている。

中国の辛夷は、ハクモクレン(白木蓮

もしくはモクレン(木蓮)[7]のことを指し、コブシの漢名とするのは誤りとされている。

別名ヤマアララギ、コブシハジカミともよばれる[

アイヌ地方では「オマウクシニ」「オプケニ」と呼ばれる

アイヌの言葉で「良い匂いを出す木」「放屁する木」という意味を持つ

北海道のコブシは「キタコブシ」と呼ばれることもある[10]。

花期は早春(3 - 4月)

果実は長さ5 - 15 cmの集合果で

山茶花

別名		樹形
科属	ツバキ 科	
学名		
種	サザンカ	
性状		
葉の分類	対生 単葉 広葉 切れ込みなし 鋸歯なし	
類似	ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ	
開花時期	4月	
別名	アメリカ山法師	



常緑広葉樹の小高木[9]。樹皮は淡灰褐色で表面は平滑である

花期は、秋の終わりから初冬にかけての寒い時期(10 - 12月)

植栽される園芸品種の花の色は、赤色や白色やピンクなど様々である

花が咲いたあとに直径2 cm 程度の球形の果実がつく

原種のサザンカは特に寒さに強いわけでは無

サザンカ、ツバキ、チャノキなどのツバキ科の葉を食べるチャドクガが知られてい
この毒蛾の卵塊、幼虫、繭、成虫には毒針毛があり、触れると皮膚炎を発生さ

直接触れなくても、木の下を通ったり風下にいるだけでも毒針毛に触れ、被害にあうことがある

サツキツツジ

別名 サツキツツジ
科属 ツツジ 科 ツツジ 属
学名 *Rhododendron indicum*

樹形

性状

葉の分類

類似

花芽分化期 5月～6月



ツツジ科ツツジ属の常緑低木

好きな形に剪定しやすく、剪定にも強いことから盆栽にも使われ、名品が多い。

キリシツツジ

サツキツツジより、色があざかで、葉も小さい。

色の分け方は：葉先の色を見ることがある。

シモクレン

別名

樹形

科属 モクレン科
学名

性状

葉の分類 ヤマボウシ、ガビサンヤマボウシ

類似

開花時期 4月

別名 アメリカ山法師



wikipediaより、引用しています。

モクレン目モクレン科モクレン属の落葉低木

花が紫色であることから、シモクレン(ハネズ、モクレンゲと呼ばれることもある

今日では、ランよりもハスの花に似ているとして「木蓮(もくれん

中国南西部(雲南省、四川省)が原産地である

小型で樹高3-5m程度。葉は互生で、広卵型、長さ8-10cm、先は尖

花期は春(4-5月頃

がくは3枚、雄しべと雌しべは多数が螺旋状につ

上品な強い芳香を放つ。ハクモクレンとは異なり、花びらは舌状で長い。実は赤い。

移植は困難であり、株分けによって殖や

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)では国花に指定されている

シモクレンとシデコブシの交雑種もあり、花の外観は細めのシモクレンに見える

シモツケ

別名 Spiraea japonica 樹形
科属 バラ科 落葉低木 日本・東アジア原産
学名



性状

葉の分類

類似

開花時期 :5月～8月:

別名

丈20～120cm、横幅30～100cm、葉3～8cm前後(互生)

暑さや寒さにも強く性質は大変丈夫です。

花色は赤紫からピンク、白などがあります。

やや大きくなるので地植えに向いていますが、

日当たりのよい場所を好みますが、木陰になるような所でも育ちます

適湿を好みます。乾燥にもかなり耐えます

寒さには強いですが 成長は早いです刈り込みもききます

移植は容易ですが大株の移植は落葉期に

普段は花後に徒長枝を切る程度。込み合ってきたら古い枝を根ぎわから切り取ります

シモツケマルハバチの幼虫には要注意。病気はうどん粉病が発生することがあります。



シラカシ

別名
科属
学名

[ブナ科コナラ属の常緑高木](#)

樹形



性状
葉の分類
類似

葉は互生し、4 - 13センチメートル (cm) の長楕円形から狭長楕円形
葉身は革質で厚い[4][3]。上半部の縁には鋸歯があり
表面は濃い緑色でつやがあり、裏面は白っぽい薄い緑
ウラジロガシのように白いわけではない
芽吹きはじめの葉は赤味を帯びている[3]。

花期は4 - 5月。雌雄同株
雌花は数花を上向きにつける。
果実は堅果(いわゆるどんぐり)

どんぐりは:木の種類によって、形、大きさ、が違います。

1年を通して緑が楽しめ、防風林、生垣、
公園樹、街路樹、庭木などの植栽によく使われる

材は固くて重く、弾力に富む性質がある
器具、薪にするほか、木刀の材料になる
葉は、ウラジロガシと同様の結石溶解作用があるとして、民間薬

スズカケノ木

別名
科属 スズカケノキ科スズカケノキ属
学名

樹形

性状 スズカケノキ属のみからなる科

葉の分類

類似

開花時期

別名



落葉高木で、葉は互生。花は単性で小型の風媒花で、球形の頭状花序になる
雌雄同株。がく・花弁(雌花のみ)
・雄蕊(雌花にも仮雄蕊がある)は各3-4個のものが多
雌蕊は5-8個ほどが離生し、 果実は閉果が多数集まり複合果となる

センベルセコイヤ

別名 樹形
科属 スギ科 セコイア属
学名 *Sequoia sempervirens*

性状 常緑針葉大高木

葉の分類

類似

開花時期

別名



高さ100m近くにもなる世界有数の大高木
セコイアスギ、センベルセコイア、レッドウッド、アメリカスギ
あるいはコースト・レッドウッド、カリフォルニア・レッドウッドなど[2]とも呼ばれる

樹皮や心材の色からレッドウッドとも呼ばれる
この樹皮と木質部はタンニンを多く含み、病原菌や白蟻の侵入を拒む。

この厚い樹皮は、他の広葉樹が燃え尽きてしまうような山火事の際にも木の内部を守る

日本では庭園の木や記念樹として栽培されている

北米の先住民が作るトーテムポールの原材料でもある

ドイツトウヒ

別名 樹形
科属 マツ科 Pinaceae トウヒ属 *Picea*
学名

性状

葉の分類



類似



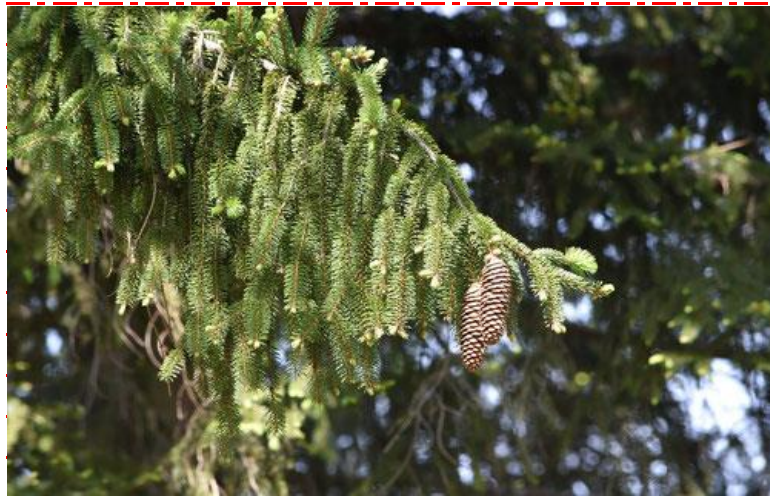
ヨーロッパの北部から中部を原産とするモミノキの仲間
クリスマスツリーに使われる定番の木

日本へ渡来したのは明治時代の中頃。

マツボックリは長さ20センチにも達する大型で、種子はリスの好物となる
・「ドイツの森に多い、唐風のヒノキ(檜)
という意味合いでドイツウヒと呼ばれる。

病虫害、公害に強く 日陰にも耐える
暑さ、寒さに強く、北海道から九州まで植栽できる

移植は難しいものの、モミノキよりは扱いやすく、成長も早い。



トウカエデ

別名

樹形

科属 ムクロジ科 カエデ属

学名



性状
葉の分類
類似
開花時期
別名 三角楓



中国名は三角楓(三角槭)[1]ともよばれ

漢字名は「唐楓」とされる。よく街路樹や公園樹などにされる。

落葉広葉樹の高木 一年枝は淡褐色や赤褐色で皮目が多い

先の方が浅く3裂し[3]、裏面に白粉がある。秋は黄葉・紅葉が美しい[3]。

開花時期は春(4 - 5月)花は雄花と両性花をつけ、淡黄色5弁で、散房状につける
果実は2枚の翼果で。平行または鋭角に開き秋に結実する。紅葉の種よりも大きい

冬芽のわきにある葉痕はV字形や倒松形で、維管束痕が3個つく[
葉がピンク、白、黄緑、緑、赤に変化する花散里(メープルレインボー)や斑入り品種



ドウダンツツジ

別名	樹形
科属	つつじ科ドウダン属

学名

性状

葉の分類

類似

開花時期

別名



夜間の明かりに用いた灯台(結び灯台)の脚部と似通っており
の「トウダイ」から転じたもの

落葉広葉樹。低木で、大きくても3メートル程
自生地は少ない。庭木や植え込みとしてはごく普通に植えられる

花期は、葉が出てから約1週間後(4月上旬から5月中旬頃、地方によって違う)

花は、白色、釣り鐘のような感じで、5ミリメートル
葉は、菱形に近く、大きさは通常約2センチメートル、

乾燥に弱い。新緑、花期、紅葉と、見頃が多い。

紅葉は寒冷な地で10月中旬から11月上旬頃、 **まっ赤に紅葉する**

有毒な植物も多く存在する。それらの中にはアセビやネジキなど本種のように白い小さな花
一般では猛毒草であるスズランに似た花を付ける

本種と似た同属植物にサラサドウダン(学名 : E. campanulatus、フウリンツツジと
カイナンサラサドウダン(学名 : E. sikokianus)がある

花にピンクのラインがあることから本種と区別できる
花の色が、赤みが強いものにベニサラサドウダン(学名

ナツツバキ

別名 シャラノキ(娑羅樹)。
科属 ツバキ科 ナツツバキ属
学名

樹形

性状
葉の分類
類似
花期 6～7月



別名はシャラノキ[2][4]、サラノキ[4]、シャラ[4]
サルナメ[4]、シャラソウジュ、サラソウジュ(娑羅樹、沙羅双樹)など

仏教の聖樹であるフタバガキ科のサラソウジュに擬せられ、これらの別名

落葉広葉樹[4]。中高木で、樹高は10メートル(m)程度になる
樹皮は灰褐色で、近縁のヒメシャラの赤褐色との区別点である[5]。

花期は梅雨期(6月 - 7月初旬)である
葉のつけ根に、直径5 cm程度の白い花を上向きに咲かせる

朝に開花し、夕方には落花する一日花である[5]。果実熟期は10月

ナツツバキより花の小さいヒメシャラ(*Stewartia monadelphina*)も山地に自生し

ナツツバキ属(*Stewartia*)は東アジアと北アメリカに8種ほど分布する。

西日を嫌い湿潤な環境を好むこと
庭の東側や北側、あるいは中庭に植えられ
日当たりの良い場所や乾燥場所は避けられる

、幹に直射日光を当てない環境が最適と言われている
植栽適期は3月下旬 - 4月上旬と10月中旬 - 11月

病虫害では、チャドクガの害に注意を要する[



ナナカマド

別名
科属 バラ科 ナナカマド属
学名

樹形

性状

葉の分類

類似

開花時期

和名 ナナカマド



変種: サビバナナカマド ツシマナナカマド

大変燃えにくく、7度竈(かまど)にくべても燃え残る

「7度または7日間竈で焼くと良質の炭になる
この材で作った食器は7世代も使えるほど強い」という説もある

落葉広葉樹[17]。高さ3 - 12メートル (m) の小高木から高木
葉は長さ15 - 25 cmの奇数羽状複葉で
長さ3 - 9 cmの側小葉が4 - 7対(または9 - 17枚[1])向かい合っつく

開花時期は初夏の5 - 7月で[18]、白い花を多数咲かせる[

果期は9 - 10月[9]。果実はナシ状果で[
秋にはあざやかに紅葉し[5]、球形で直径5 - 6 mmの赤い実を実らせる[

。実は晩夏から冬まで見られ
実はとても苦いが、冬の寒さの中で糖度が上がって少しずつ苦味は減少
レンジャクやアトリ、ツグミなどの鳥類の食料となる[10][9]。

は庭木や街路樹、公園樹として植栽され、花材としても用いられる
材は褐色で堅く細工物に適してお
果実は果実酒にも利用できる。かたい材は備長炭の代用として優れている

北海道大学で果実を用いてジャムやマーマレードなどの商品化の研究が行われ。

生材は燃えにくい が 炭は火力も強く火持ちも良いので、極上品とされてい

備長炭の代用としてウナギの蒲焼きに珍重される[
植え付けや姿勢剪定は1 - 3月に行われ、カミキリムシの食害を受ける

ナナカマドの花言葉は、「慎重」である

ハナミズキ

別名 アメリカヤマボウシ
科属 ミズキ科 ミズキ属
学名

樹形

性状 落葉小高木

葉の分類

類似

開花時期 4月下旬～5月

別名



wikipediaより、引用しています。

北部のメイン州などで春の終わりに開花が移動する模様は、「ハナミズキ前線」

樹皮は灰黒色。
葉は楕円形となっている。秋には紅葉する

花期は4月下旬から5月上旬 白色や薄いピンク色の花

秋につける果実は複合果で、赤い。



ハクチョウゲ

別名	
科属	アカネ科 ハクチョウゲ属
学名	<i>serissa japonica</i>
原産地	東アジア
性状	
葉の分類	
類似	
開花時期	5～7月

樹形



背丈0.3～0.6m(1.0m)、横幅0.4～0.6m(0.8m以上)、葉1～3cm(対生)

主な見所:花(5～7月)

日向から半日陰で育ちます。花をよく咲かせたい場合は日向

適湿を好みますが、比較的広い範囲に適応します

成長は比較的早いのですが、大きくならない木なので遅く感じます

移植:春～初夏、秋 移植は比較的容易です

剪定:春・花後すぐ

病虫害:これといった害はありません

オススメ度:80%

花は地味ですが病虫害も少なく、用途の似たサツキよりも扱いやすい木です

魅力を十分に引き出すためには半日陰程度の日照時間が欲しいです

ビンカマジョール

別名	ツルニチソウ	樹形
科属	キョウチクトウ科	ビンカ属
学名		

性状 常緑～半常緑

葉の分類

類似

開花時期 3～6月

別名

剪定 間引きをする



ツルニチニチソウ(ビンカマジョール)は春から初夏にかけて花を咲かせる植物です

別名、ビンカマジョールとも呼ばれます

常緑ツル性多年草(もしくは亜低木)、南ヨーロッパが原産地です。

開花期: 3～5月

花色: 紫、青、白

寒さにはやや弱いですが半日陰でも育ち乾燥にも耐える

グラウンドカバー、花壇、寄せ植え、公園や庭園、ハンギングバスケットなどに使われます

◆ヒメツルニチニチソウ(ビンカミノール)

ツルニチニチソウに比べると花も葉も全体的に小さいです

風通しが悪いとカイガラムシが発生することがあります

植え替えは、3～5月と9月中旬～10月が適期です

株分け、または挿し芽で増やします。

Red dashed border area for notes or additional information.

ヒペリカリカリシナム

別名	オトギリソウ科	樹形
科属		
学名		
分類	落葉～常緑低木	
性状	半常緑～常緑低木	
葉の分類		
類似		
開花時期	花 (5～7月) 実 (10～11月)	



Red dashed border area for notes or additional information.

原産地 中央アジア～地中海沿岸

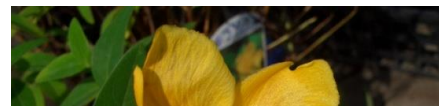
大きさ 背丈15～50cm、横幅30～60cm

ヒペリカムの仲間には有名なキンシバイやビヨウヤナギが

耐寒性: 耐寒性は強いです

ヒペリカムヒデコウト

別名	樹形
科属	
学名	



性状	落葉 低木
葉の分類	
類似	
開花時期	6～7月
別名	



ヒメユズリハ

別名		樹形
科属	ユズリハ科	ユズリハ属
学名		

性状	常緑 高木
葉の分類	
類似	
開花時期	
別名	親子草／正月木／交譲木
高さ	3～10cm



本州中南部、四国、九州及び沖縄に分布するユズリハ科の常緑樹。

ユズリハに似た葉が小さい木としてヒメユズリハと名付けられた
日本では正月飾りとしてダイダイやウラジロと共に鏡餅などに使われ
縁起の良い木とされる

・葉は長さ6～12センチで幅が狭く 葉の縁は裏側へ反り返り

ヒメユズリハの開花は5～6月

雌雄異株で雄の木には雄花が、雌の木には雌花が
前年に伸びた枝にある葉の付け根あたりに咲く

・花の後にできる果実は直径9ミリほどの楕円形

樹皮や枝葉にはユズリハ同様、有毒成分が含まれており

斑入りヒメユズリハ
葉に白やクリーム色の模様が入る園芸品種

用途】庭木／防潮／正月飾り

ビョウヤナギ

別名 マルバビョウヤナギ

科属 オトギリソウ科

学名

別名 ビジョヤナギ(美女柳)

性状 半落葉低木常緑広葉(半落葉) 低木

葉の分類

類似

開花時期 6～7月

樹形



中国を原産とするキンシバイの仲間。

6月から7月にかけて咲く黄色い花が美しく、葉の形や垂れ下がる様子が柳に似ることから名作

・根元からたくさんの新芽を伸ばし、株立ち状に育つが、剪定は好まず、刈り込むことで樹形を引

ビヨウヤナギの花はキンシバイより圧倒的に大きい。
ビヨウヤナギは、花の中にある「雄蕊」の数が多く、
花びらの外に飛び出すのが特徴。

マテバシイ

別名 マテバガシ、マテガシ
科属 ブナ科 マテバシイ属
和名 マテバシイ

樹形

性状 常緑 高木
葉の分類
類似
開花時期 5～6月頃、黄褐色の雌雄花穂を結ぶ
別名



ラテン語の形容詞で「食べられる」という意味である

和名は葉がマテガイに似たシイノキであるという意味がある

マテバガシ、マテガシ、マタジイ[5]、サツマジイ[5]、アオジイ、トウジイともよばれる

果実はタンニンをあまり含まないため
アク抜きを必要とせず、そのまま炒って食用になる

粉状に粉碎してクッキーの生地に混ぜて縄文時代のクッキーとして味わうこともできる。

果実は堅果いわゆるドングリで、長さ2 - 3 cmの長楕円形、翌年の秋10月頃に熟す



モチノキ

別名

科属

[モチノキ科モチノキ属](#)

学名

樹形



性状

[常緑高木](#)

葉の分類

類似

開花時期 **雌雄異株で、花は淡紫色、5月から6月**

別名

塩害に強く、寒気の強い内陸では育ちにくいいため、暖かい地方の海辺に自生

常緑広葉樹の中高木[6]。雌雄異株で、株単位で性転換する特性がある

開花期は春(4月ごろ)

果実は直径10 - 15 mmの球形の核果

晩秋(11月)に熟すと赤色になり[7]、鳥が好んで食べ

実は冬まで残り[5]、長く枝に残るものは黒くなる

冬芽のうち、花芽は雄株・雌株ともに葉の付け根につき、雄株のほうが花芽は多い

頂芽は円錐形で小さい[2]。葉痕は半円形で、維管束痕は1個つく[

モチノキにはモチノキタネオナガコバチという天敵が存在する

このコバチは夏に発育中の種子の中に産卵し、幼虫と成って越冬する

幼虫は実の色を操作する能力があり

秋になれば本来赤くなる実を緑のままにすることで、実が鳥に食べられる事態を避ける

鳥に食べられる事によって繁殖するモチノキにとって、コバチの産卵は繁殖の妨げとなる。

モチノキは花粉を受粉しなくても種子を形成し

果実まで成熟することができる能力があり

土壌の質は適度な湿度を持った壤土に、根を深く張る

植栽適期は、2月下旬 - 4月、6月下旬 - 7月中旬も

剪定の適期は、3月中旬 - 5月中旬とされる[6]

ヤマボウシ

別名

樹形

科属 ミズキ科ミズキ属ヤマボウシ亜属

学名

性状 落葉 高木

葉の分類

類似

開花時期 6~7月 9月頃に赤く熟し

[果実酒](#)



由来は、頭状の花序を僧兵の頭に、総苞片を白い頭巾に見立てた事によるとする説

ヤマボウシの日本一の名所といわれる箱根[6]では昔「クサ」と呼ばれていたの

山地や野山にふつうに見られる

花期は5 - 7月[7]。白色の花弁に見える総苞片が4枚あり、
総苞片の中心に淡黄緑色で小さい花が、球状になって多数密集す

花形は、ハナミズキ(アメリカヤマボウシ)に非常によく似ている
花付きが良く、満開時は花の重みで枝がしなる

果実は集合果で
粘核性で甘味があり食用になる[

西日を嫌うため、敷地の東側から南方に植えて育てられる
水はけのよい常に水が存在する場所を好む。

植栽適期は2 - 3月[5]、または3月下旬 - 4月上旬か10月中旬 - 11月

不要枝を剪定する場合は1月中旬 - 3月中旬に行
さらに必要なときは9月中旬 - 10月中旬に行う

害虫ではアブラムシ、カイガラムシが付くことがあり、
幹に穴を開けて食害するテッポウムシが付くことがあり

ハナミズキ炭疽病に抵抗性があるヤマボウシまたはハナミズキのヤマボウシ交配品種に植え替える病害

果肉はやわらかく黄色からオレンジ色でありマンゴーのような甘さがある

ユキヤナギ

別名 コゴメバナ、コゴメヤナギ
科属 バラ科 シモツケ属
学名

樹形

性状 落葉 低木シモツケ属

葉の分類

類似

開花時期 3~5月 5弁で雪白

別名



Red dashed border area for notes or additional information.

レットロビン

別名
科属 バラ科 カナメモチ属
学名

樹形



性状
葉の分類
類似 カナメモチとオオカナメモチの雑種
開花時期 5月
別名

Red dashed border area for notes or additional information.

Red dashed border area for notes.

レンギョウ

別名
科属 モクセイ科 レンギョウ属
学名

樹形

性状
葉の分類
類似
開花時期
別名



wikipediaより、引用しています。

Red dashed border area for notes.

Red dashed border for notes.

クチナシ

別名
科属
学名

樹形

性状
葉の分類
類似
開花時期
別名



wikipedia より、引用しています。

Red dashed border for notes.

ゴヨウマツ

別名
科属 マツ科 マツ属
学名

樹形

性状
葉の分類
類似
開花時期
別名



基変種ヒメコマツ (*P. p* var. *parviflora*) は本州

変種キタゴヨウ *P. p* var. *pentaphylla* は本州北部と北海道に分布する。

葉は青みを帯びた緑色で、長さ5 - 6センチメートル (cm) の針状で、短枝に5個ずつ束になって

花期は5 - 6月[3]。雌雄同株であり

果実は毬果(松かさ)で、熟すのは2年目の10月頃である

毬果は大きさが4 - 7 cmの卵型で

種子は大きさ1 cmほどで2 - 10 mm ほどの翼を持つ[4]。



熟して種子を散布した毬果

ダイオウマツ

別名

樹形

科属 マツ科 マツ属

学名

和名 ダイオウマツ、ダイオウショウ、ロングリーフパイン

性状

葉の分類

類似

開花時期

別名



樹高30-35m、時に50m近くに達することもある大型の松。樹皮は赤みを帯びた茶色

マツ属の中でもヒマラヤに分布するP

土壤を選ばずに生育し、水はけの悪い湿った土地から、乾燥した岩場まで生息する

原産地では海岸地帯から標高600m程度の範囲に分布。

水はけの良い砂質の土壤が厚く堆積している

谷の部分では砂岩、石灰岩、頁岩、ドロマイトなどの堆積岩由来の土壤に生育する

マツぼっくりは、一番大きい



種子です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

赤松

別名
 科属 マツ科 マツ属
 学名 pinus densifora

樹形

性状
 葉の分類 : 葉は2枚
 類似
 開花時期 : 4月頃……(雄雌同株)
 和名: アカマツ、メマツ
 花期は: 翌年の10月頃……松ぼっくり……
 晴れた日に胞子を散らす。



樹皮は、赤みをおびる。(二葉松)

剪定は: チラシ剪定を主にします。

マツノタマバエが、産卵すると、新芽は茶色に枯れてしまう。2~3年連続すると、枯れてしまう。
 マツ材線虫病……マダラカミキリ虫によって、媒介される。但し、ゴマダラカミキリ虫は、種類が違う。

剪定時期、方法……秋の彼岸迄にチラシ剪定、林中芽剪定はしない事

黒松

別名 : オマツ(雄松)
 科属
 学名

樹形

性状
 葉の分類 : 太くて固い、葉は二葉で、樹皮は、灰黒色



類似 : **アイ松(黒松と、赤松の林では、雑種が、生じ**
 開花時期
 別名



黒松は、日本と韓国の海岸に自生するマツ属の1種です。
 雌松は、なかなかお目にかかれません。昔は、先代に、雄松と雌松を、中庭の入り口に、植えました。
 雌松は、赤松の様に、葉先が柔らかいです。**実際に見た者で、なければ解りません。**

また、葉が3枚の物(雌松)……三鈷の松(高野山)、私の親戚の庭に植えられている。
 三木市の古い家の庭に植えられている。私が知っている所では、**2件**だけです。
 神戸市の箕谷のお寺にも、あります。

松の種類……………ダイオウショウ、出雲まつ。、九州まつ、地松、五葉松、タギョウショウ
 アイマツ、雌松、三鈷の松 ほかに……

松は、庭の主木である。門松は、オン、メン松と、ナンテン、クマザサ、竹、地被植物、梅
 等を、加える

カイズカイブキ

別名
 科属 バクシン属 ヒノキ科
 学名
 種 : **イブキ**
 性状

樹形



葉の分類

類似

開花時期

別名



原産地は、中国
春に挿し木や接ぎ木で増やす。

日当たりの良い砂地など、排水性の肥沃地が適する。
浅根性である 低温には弱い、排気ガスに強く
生長が早く剪定によって造形をするのにも用いられる

剪定:強い剪定や、木が弱ってくると、杉のようなトゲのあるような葉が、出てきます。
その場合:トゲのある枝を、切り戻します、。

剪定時期:新芽が、出てから、時期は何時でもいいですが、寒い時期は、避けます。
強く刈り込まないこと。どんな形も作れます。

肥糧: 肥料は、あまり気にしなくても!

古木 4m以上、幹回り60cm以上の木は、床柱になります。

しだれ梅

別名

科属

学名

さくら属 バラ科

樹形



性状

葉の分類

類似

開花時期 : 3月10日～

別名



WEBより、引用しています。

産地は: 中国 、 多年草、

6月頃に、挿し木で、ふやす

移植には、赤玉土7, 腐葉土3, を、目安に

鉢の底部分は、しっかりと、水をやきましょう。

剪定時期: 花が終わってからに、しましょう。

剪定は、上目の上で、3cm残して、2芽のところ、カットする。

エンジュ

別名

科属

学名

樹形

性状

葉の分類

類似

開花時期

別名



対策が行われることがある。

